

令和4年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び次年度の扱い(改善策等)
<p>1 国際社会に貢献する人材の育成を主眼として、高い志を掲げ、その実現に向け主体的に努力でき、難関国公立大学等、志望する大学に果敢にチャレンジする生徒を育てる。</p>	<p>① GIGAスクール構想に基づくICT機器の活用等を通じて、生徒の思考力、判断力、問題解決能力、表現力の育成を目指し、授業力の向上を図る。</p>	<p>授業評価において、「授業のねらい」「教員の熱意や工夫」「説明や指示」「考えさせる場面」「興味・関心が高まる」の5項目におけるA評価の平均が A 55%以上 B 50%以上 C 45%以上 D 45%未満</p>	<p>[12月実施「後期生徒による授業評価」] A評価の平均 54.1% 【判定 B】</p>	<p>前期と比較して、A評価の平均は55.1%→54.1%であった。内訳は、「ねらい」56.0%→55.2%、「熱意や工夫」60.6%→60.7%、「説明や指示」55.2%→53.6%、「考えさせる場面」60.0%→59.5%、「興味・関心」43.7%→41.4%である。全項目で微減であった。「興味・関心」の評価が低く、改善の余地があり、引き続き次年度に向けて、いかに生徒の学習意欲を高めるかに留意し、授業改善に努めたい。</p>
	<p>② 授業や総合的な探究の時間等の活動を通して、生徒が主体的に課題解決に取り組む姿勢を育む。</p>	<p>自らの学習について (ア)授業や課題以外に積極的に取り組み、独自の学習にも取り組んでいる。 (イ)授業や課題に積極的に取り組んでいる。 (ウ)授業や課題には取り組むが、自らを高めようとする努力や意識が足りない。 (エ)その場しのぎの学習が多く、極端に悪い成績を取らないように勉強している。 (ア)+(イ)の合計が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満</p>	<p>[12月実施「学校評価アンケート(生徒)」] (ア)+(イ)の合計 66.7% 【判定 C】</p>	<p>前期と比較して、3教科の肯定的な回答の平均は62.7%→66.7%(英語59→64%、数学74%→77%、国語55%→59%)と3教科とも向上した。生徒の授業に対する意識の向上が見られる。生徒が自分に合った学習スタイルについて考え、主体的に学習に取り組むよう、生徒の自覚を促していくとともに、「興味・関心が高まる」ような仕掛けを考えて、得意分野を伸ばす発展的な学習に取り組ませていきたい。</p>
		<p>家庭学習時間が学年の目標値に達している1年生(2時間)・2年生(2.5時間)のそれぞれの割合が A 60%以上 B 50%以上 C 40%以上 D 40%未満</p>	<p>[4月～1月実施「家庭学習時間調査」(但し8月は除く)] 1年(2時間) 57.1% 【判定 B】 2年(2.5時間) 46.4% 【判定 C】</p>	<p>試験や学校行事等に大きく左右されることなく、主体的に学習時間を確保するように、①課題を適正な量でより内容の濃いものに見直すこと、②興味・関心が高まるように授業改善を図ることに取り組む。</p>
	<p>③ 国際社会において必要不可欠な英語によるコミュニケーション能力を身に付けようとする態度を育成する。</p>	<p>2年次12月に受検するGTEC検定版において、CEFR-Jの基準で、A2.2以上の成績を取った生徒の割合が、 A 70%以上 B 60%以上 C 40%以上 D 40%未満</p>	<p>[2年次12月受検GTEC検定版] A2.2以上 278人 85.8% 【判定 A】</p>	<p>12月のGTEC検定版の結果は、B2-1人、B1.2-11人、B1.1-60人、A2.2-206人、A2.1-45人、A1.3-1人であった。1年次12月に受けたときと比べると、どの分野においてもスコアを伸ばしており、自分の意見を積極的に表現しようとする姿勢が備わってきている。 2年人文科学コースでは、9月の県外研修で語学研修を行った。11月の外国人との交流研修では、課題研究の内容を中間報告として英語で留学生や国際交流員にプレゼンテーションをして、助言や意見をもらった。この活動では、各生徒が能動的に英語で会話をし、学習意欲を高めることにつながった。</p>
<p>④ 高い志を持って進路目標の実現に向かう生徒を育て、個々の生徒に応じた進路志望を達成する。</p>	<p>合格者数が ア 難関大学合格者数 20名以上 イ 金沢大学合格者数 60名以上 ウ 国公立大学合格者数 200名以上 A ア・イ・ウの3指標すべてを達成 B ア・イ・ウのうち、2指標を達成 C ア・イ・ウのうち、1指標を達成 D ア・イ・ウの3指標とも達成できず</p>	<p>[大学入試結果] ア 15名(現役13名+既卒2名) イ 64名(現役60名+既卒4名) ウ 235名(現役221名+既卒14名) イ・ウの2指標を達成 【判定 B】</p>	<p>3年生(現役)だけの集計によると、国公立大学現役合格者数、難関大学合格者数および金沢大学合格者数はここ最近20年間で最高の結果を残すことができた。放課後や休日の3年生の自主的な登校学習が見られ、最後まで粘り強く努力した。 2年生に対して、1月に行われた進路希望調査では難関大学志望者が19.5%であった。3年生が26.2%であったことを踏まえると低いと思われるので、上位の大学を狙う意識の醸成をしていかなければならない。 引き続き、生徒に適した進路に向けて指導をしていく。</p>	

令和4年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び次年度の扱い(改善策等)
	⑤ 「進学校における部活動」を追求し、学校として生徒が学習と部活動を両立できるよう配慮し、かつ指導を徹底している。	<p>限られた時間の中で効率的・効果的な活動に取り組んでいる部活動が (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない</p> <p>(ア)+(イ)の合計が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p> <hr/> <p>下校時間を遵守している生徒が (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない</p> <p>(ア)+(イ)の合計が A 95%以上 B 90%以上 C 85%以上 D 85%未満</p>	<p>[12月実施「学校評価アンケート(生徒)】 (ア)+(イ)の合計 80%(ア:45%、イ:35%) 【判定 B】</p> <hr/> <p>[12月実施「学校評価アンケート(生徒)】 (ア)+(イ)の合計 90%(ア:66%、イ:24%) 【判定 B】</p>	<p>前期は1・2・3学年全体で80%、後期は1・2学年全体で80%と前期と変化がなかった。 しかし、「よくあてはまる」が45%で前期より6%減少した。 低下した原因は、後期から1・2年生主体の活動となり、効率的・効果的な取組がまだ不十分であると考えられる。 部活動の取組については休日の確保や効率的・効果的な活動を目指している。生徒の行動・意識を高められるように顧問会議や部長会議を通して呼びかけたい。</p> <hr/> <p>学年別では、1年生85%、2年生90%、3年生97%と学年が上がるにつれて下校時間の遵守率が高くなっている。 下校時間の遵守が「文武両道の実践」と「進学校における部活動の追求」として重要な項目であることから、上級生の取組を見習い、時間厳守を徹底していきたい。</p>
学校関係者評価委員会の評価	NSH(いしかわニュースーパーハイスクール)の取組は生徒が将来を見据えるうえで有効な活動である。探究(課題研究)や研修は生徒の主体的な学び・深い学びにつながるものであり、できるだけ学校全体(全生徒)に広げて欲しい。			
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策	各種取組を通して社会貢献の志を育成する。全生徒が探究に取り組む体制をつくり、外部機関(大学・企業等)との連携強化により探究の充実・発展を図っていく。			
2 校則「質実剛健」を不易のものとし、挨拶や感謝の心、規範意識やいじめを許さない姿勢など人としての基本を身に付けた、心身ともにたくましい生徒を育てる。	① 登下校指導、街頭指導、挨拶運動を通して規範意識を向上させる。	<p>・積極的に挨拶をしていることについて (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない</p> <p>(ア)+(イ)の合計が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p> <p>・きちんとした頭髪、服装をしていることについて (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない</p> <p>(ア)+(イ)の合計が A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p>	<p>[12月実施「学校評価アンケート(生徒)】 (ア)+(イ)の合計 83%(ア:27%、イ:56%) 【判定 B】</p> <hr/> <p>[12月実施「学校評価アンケート(生徒)(保護者)】 (ア)+(イ)の合計 (生徒:97%、保護者:93%) 【判定 A】</p>	<p>前年度より4%増加して83%となり、生徒が挨拶を積極的にしている認識をもっている。 本年度、学校長から集会等で挨拶の大切さについての話があり、生徒の意識が変わってきたことや、年度始めに各部活動による登校時の「挨拶運動」を実施した成果が出てきている。 しかし、保護者の肯定的評価は68%と低く、認識に差がある。 今後も挨拶により元気で活力ある学校を目指していきたい。</p> <hr/> <p>「よくあてはまる」と回答した生徒が57%、保護者が41%と、認識に差がある結果となった。 きちんとした頭髪・服装を心掛けようとしている生徒が大半であるが、一部できない生徒も見られる。 現在、生徒の発達段階や社会の変化を踏まえて、校則の見直しを行っている。その過程に生徒・保護者も参加し、生徒が主体的に考え、行動できるようになっている。 今後も本校の教育目標と社会規範を踏まえつつ、個人の価値を尊重した校則のもとに、教職員全員で共通理解をもって指導していきたい。</p>
	② 交通安全教室、自転車マナー・ルール検定、街頭指導等を通して交通ルール遵守の指導を行う。	<p>生徒は自転車に乗車する際、交通ルールを (ア)いつも守っている (イ)だいたい守っている (ウ)あまり守っていない (エ)ほとんど守っていない</p> <p>(ア)が A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p>	<p>[12月実施「学校評価アンケート(生徒)】 (ア)58% 【判定 C】</p>	<p>例年は1年生のみ対象の交通安全教室を、今年度は全学年対象に実施し、交通安全への意識向上を目指した。しかし、結果は前期57%、後期58%と規範意識を高めることができず、さらなる交通安全への取組が必要であることがわかった。 自転車等による交通事故が起きないように、平素から掲示物等による注意喚起を行う等、交通安全に対する意識を高める取組をしていきたい。</p>

令和4年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び次年度の扱い(改善策等)
	<p>③ 各課や学年が連携を密にすることによって、生徒の悩み(学習・人間関係・部活動など)が深刻化し、不登校にならないように、相談しやすい環境を整える。</p>	<p>(生徒用) 本校は悩み(学習・人間関係・いじめ・部活動・健康状態など)を相談しやすい。 (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない (オ)わからない</p> <p>(ア)+(イ)が A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p> <p>(教員用) 相談課と各課・学年・関係委員会とが連携し、悩みがある生徒の早期発見と対策がとられている。 (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない (オ)わからない</p> <p>(ア)が A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p>	<p>(生徒用) [12月実施「学校評価アンケート(生徒)】 (ア)+(イ)の合計 56%(ア:22%、イ:34%) 【判定 C】</p> <p>(教員用) [12月実施学校評価アンケート(教員)】 (ア)47% 【判定 D】</p>	<p>(生徒用) 「よくあてはまる」、「ほぼあてはまる」の合計が56%で、前期と比較して13%減少した。 学年別では1年生58%(ア:19%、イ:39%)、2年 52%(ア:20%、イ:32%)、3年57%(ア:27%、イ:30%)であった。 「わからない」と答えた生徒が前期より13%増加した。「わからない」と答える生徒の割合が多いのは、相談したことがないからだと考えられる。 悩みを打ち明けやすい相談室になるように、集会や相談室だよりを通して周知徹底できるようにしていきたい。</p> <p>(教員用) 「よくあてはまる」が前期と比較して1%減少した。 コロナ禍が続く中、不登校傾向が見られる生徒の人数が増加し、かつ理由が多様化している。 悩みがある生徒および関わる教員を支援するため、各課・学年・関係委員会等の連携・協力体制を強化していきたい。</p>
	<p>④ 面談等を通して、生徒が主体的に自分の生活や時間の使い方を振り返る、自律の態度を育成する。</p>	<p>学習以外でのスマートフォンの使用時間が1日1時間以内であるという生徒が A 40%以上 B 30%以上 C 20%以上 D 20%未満</p>	<p>[12月実施「学校評価アンケート(生徒)】 57%(30分未満:28%、30~60分未満:29%) 【判定 A】</p>	<p>学年別では、1年生47%、2年生53%、3年生69%と学年が上がるにつれて、スマートフォンの使用時間をコントロールできる力がついてきている。 現状はほぼ全生徒がスマートフォンを所持しており、毎朝の健康報告など、多岐にわたる連絡ツールとして使用している。 しかし、使用上のモラル等の問題や学習活動への弊害も考えられるため、面談等を通して自律の態度がとれるように指導していきたい。</p>
	<p>⑤ 幅広い読書を意欲的に行うことで思考と情操を深め、自らの人格形成に活かす生徒の育成を図る。</p>	<p>1ヶ月間に1冊以上本を読んだ生徒の割合が A 50%以上 B 40%以上 C 30%以上 D 30%未満</p>	<p>[読書量調査(生徒)】 6月・9月・2月の各1ヶ月間に1冊以上本を読んだ生徒の割合を平均した数値 34.3% →【判定 C】 <内訳> 1年 34.8% 2年 33.7%</p> <p>注:3年生は6月のみ調査し、9月・2月は調査しないためデータに含まない。</p>	<p>6月1ヶ月間に1冊以上読んだ生徒の割合は29.3%(昨年26.6%)、9月は40.3%(昨年37.1%)、2月は25.9%(昨年27.3%)であった。 9月に増加したが、2月は減少した。学年末試験の学習に集中し読書を控えた生徒が多かったためと思われる。 新型コロナウイルス感染症の影響により紙媒体でなく電子図書で隙間時間に携帯電話で読書する生徒も急激に増加しており、その生徒も含めれば、本校の読書する生徒は減少しているわけではないと考えられる。 図書委員以外の生徒が多数参加するよう、POP講習会やビブリオバトル等の図書館行事を充実させ、学習指導や進学指導での図書館利用を教職員に一層浸透させることで、生徒の読書への関心を高めていきたい。</p>
<p>学校関係者評価委員会の評価</p>	<p>規範意識、挨拶・コミュニケーションや協働の能力は企業や大学でも重要である。集団における自分の役割を察し、適切に立ち回る力をつけて欲しい。自分が得意なことに気付くような経験を重ね、社会で活躍するチャレンジ精神を育てて欲しい。</p>			
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策</p>	<p>授業、学校行事や部活動等で、生徒が考え行動する場面を設け、コミュニケーション・協働の力、チャレンジ精神を育成する。校則については生徒・保護者の意見を踏まえて制定し、ホームページに掲載する手続きを進めている。</p>			

令和4年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び次年度の扱い(改善策等)
<p>3 校是「文武両道」を実践するため、教職員の共通理解のもと、生徒の主体性、自己肯定感を高め、明るく活気があり、地域から信頼される学校づくりに努める。</p>	<p>① 校長が示すビジョンとリーダーシップのもと、全教職員が組織的に協力し合いながら学校運営がなされている。</p>	<p>業務の平準化に向けた取り組みがなされ、組織的な学校運営が進められている。 (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない (ア)が A 40%以上 B 30%以上 C 20%以上 D 20%未満</p>	<p>[12月実施「学校評価アンケート(教員)』アンケートの項目No.4「職員会議や各種会議が、効率的に運営され機能している。」で評価(ア)26% 【判定 C】</p>	<p>前期(27%)とほぼ同じ結果で改善が必要だが、職員会議については各分掌からの説明時間を明示し、要点を絞った説明を心がけた結果、時間短縮を実現できた。 業務の平準化と組織的な学校運営のため、各教育活動のねらいを踏まえつつ、各分掌が担うべき役割を明確にし、分掌間・分掌内の連携・協力等によって効率化を図る。</p>
	<p>② 校内研修会をより充実させ、今日的教育課題の理解とそれに対応する教員の資質を高めるとともに、若手教員早期育成プログラムを計画的に実施する。</p>	<p>取り組んだ研修の成果を教育活動の充実に役立てることができた。 (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない (ア)が A 40%以上 B 30%以上 C 20%以上 D 20%未満</p>	<p>[12月実施「学校評価アンケート(教員)』(ア)21% 【判定 C】</p>	<p>「よくあてはまる」が21%(前期27%)、「ほぼあてはまる」が74%(前期67%)で、合計95%(前期94%)であった。 教科ごとのGIGA研修や自動採点システムの活用研修等で成果があった。 ①教育課題(観点別評価等)に即した研修の機会をタイムリーに設定すること、②教員の主体的な学びを促すことで、教員の資質向上を図るようにしていきたい。</p>
	<p>③ 部活動の活性化を通して、生徒が誠実に学校生活に取り組むとともに、自主性や自立心の育成を図る。</p>	<p>部活動に加入している生徒の割合が A 90%以上 B 85%以上 C 80%以上 D 80%未満</p>	<p>[5月集計「部活動加入状況」] 90.2% 【判定 A】</p>	<p>5月は全学年対象の調査で、加入状況は90.2%(運動部63.5%、文化部26.7%)で4年ぶりの90%台であった。生徒の文武両道を目指す意識が高い。校内に活気があり、石川県高校総体・総合文化祭等の大会結果にも反映していた。 10月は1・2年対象の調査で加入状況は89.4%(運動部61.9%、文化部27.5%)であった。 1・2年生は中学時代に新型コロナウイルス感染症の影響で最後の大会等が中止になった世代である。部活動の加入状況は若干減少傾向にあるが、学校全体としては9割近くの生徒が部活動に加入しており、多くの生徒が文武両道を目指している。進学校としての部活動のあり方を探究していきたい。</p>
	<p>④ 本校の教育活動に参加する保護者、地域の方々及び同窓生(保護者等)を増やすことによって、生徒の活動の様子を直に見てもらい、家庭及び地域と学校との連携を更に深める。</p>	<p>本年度、下記の本校学校行事に参加した保護者の延べ人数が A 4500名以上 B 4300名以上 C 4000名以上 D 4000名未満 行事:PTA総会、桜高祭、学校公開、進路説明会、3S歩行、入学式、卒業式、学校訪問(中学校PTA) 年間を通じての本校ホームページへのアクセス数が A 40万件以上 B 35万件以上 C 30万件以上 D 30万件未満</p>	<p>[本年度の実績] 保護者の延べ人数 2,785名 【判定 D】 [年間の本校ホームページアクセス数] 354,109件(4月～3月末) 【判定 B】</p>	<p>内訳は入学式561名、PTA総会257名、進路説明会600名(1年300名、2年194名、3年106名)、3S歩行438名、学校公開92名、中学校PTA来校283名、卒業式554名であった。感染症対策を講じて可能な限り行事等を実施した結果、昨年度(1419名)より増加した。 今後、来校できない方々へのオンラインでの情報提供なども引き続き必要となるが、多くの方々に来ていただくよう各課・学年等と連携して取り組んでいきたい。</p>
<p>学校関係者評価委員会の評価</p>	<p>保護者の理解や地域等との連携を深める方策としてホームページは有効である。①情報を更新した際にメールで案内、②配信対象を明確に掲載、③限定公開で写真をできるだけ掲載等の工夫をすると閲覧数が増える。</p>			
<p>学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策</p>	<p>見る側(保護者・中学生・地域等)の興味・関心を意識して、充実したホームページづくりに取り組む。</p>			

令和4年度 学校経営計画に対する最終評価報告書

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び次年度の扱い(改善策等)
4 組織運営・教職員の働き方の改善に対する意識を高め、時間外勤務時間が80時間を超えないように、より効果的な教育活動を実践する。	① 業務を細部まで見直し、会議や組織の運営、業務遂行の効率化、教職員の意識改革を進めることによりワークライフバランスを図り、教育活動の充実に努める。	時間外勤務時間を昨年度より減少させることができた。 (ア)よくあてはまる (イ)ほぼあてはまる (ウ)あまりあてはまらない (エ)あてはまらない (ア)+(イ)の合計が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	[12月実施「学校評価アンケート(教員)」] (ア)+(イ)の合計 59%(ア:15%、イ:44%) 【判定 D】	前期学校評価では、(ア)+(イ)の合計が56%(ア:10%、イ:46%)で、数値としては上昇しているが、改善してきているといった実感はない。部活動指導を始め、新しく導入された観点別評価に対する対応、1人1台端末に対応した新たな授業づくりなど、負担に感じている教員が多いことが要因と考えられる。 業務内容を見直して、質を落とすことなく改善できるよう、複数で業務にあたることや自動採点システム・ICTの効果的な活用を推進するなどして、業務に対する意識改革を引き続き粘り強く働きかけていきたい。
学校関係者評価委員会の評価	①業務内容を見極め可能な限り分担、②業務のねらいを明確にし、「やらされ感」のない仕事にすること、③情報共有・情報処理アプリや留守番電話等を活用することが業務改善につながる。			
学校関係者評価委員会の評価結果を踏まえた今後の改善策	業務の精選(業務のねらいの明確化)、業務分担の工夫、ICTの活用等の視点を持ち、業務改善を推進する。			